

子供たちに未来の学びを伝える、新たな図書館サービス

～Media Literacy Workshop～ × 富士通デザイン株式会社 × 株式会社メタデザイン

長崎市立図書館（長崎県長崎市） <http://lib.city.nagasaki.nagasaki.jp/>

基本データ（数値はH25年現在）

住所	長崎市興善町1-1
電話番号	095-829-4946
人口（図書館が所在する市町村）	439,408人
職員数（うち有資格者数）	72人（51人）
蔵書数	573,060冊
登録者数	95,813人
年間貸出冊数（H24）	1,574,510冊

目的・趣旨

情報化が進む今日、地域図書館には「知識や情報の提供」に加え新たな役割が求められている。長崎の今と未来のために、市民と共に成長する知のネットワークの拠点を目指し、サービスプログラムを実践。

取組概要

情報が溢れるメディア社会で主体的に情報を選択・判断し活用する「情報活用力」を育むプログラムの実施 Media Literacy Workshop（全3回）

- これからの長崎をつくっていく子供たちに、図書館内の情報に加え、メディアを使った新しい方法で、地域とつながり社会の課題を解決するスキルを身につけ、主体的に「生きる力」を養う
- 図書館を拠点に現在は点在している地域の人やリソースをつなぎ、新しい対話の機会やきっかけを創り出す



ワークショップを通じた地域の大人、学校や施設の連携

特徴

Media Literacy Workshop（全3回）

テーマに対し「複数の情報を多角的に読み解き自分の解釈をつくる」「チームで解決策を組み立てる」「考えを外部に伝え対話する」といった一連の学びのプロセスを体験する



< 主体的な学びのためのプロセス >



司書がファシリテーターとなり子供たちの知の探究をサポート

正解のないテーマについて考える



図書館にある情報に加えタブレットを使い情報を読み解き活用し、自らの答えをつくり出す

チームで対話し自身が大切にしたい思いを発見する

ビデオ通話を使って自らの思いとそれを実現するアイデアを人に伝える

取組の成果と今後について

● 第7回キッズデザイン賞協会会長賞受賞：未来における生活者、消費者として欠かすことのできないリテラシーを育むプログラムとして高く評価された。 http://www.kidsdesignaward.jp/search/detail_130241c7

● 取組によって繋がった長崎市内の学校や施設にも、図書館を拠点とした新しい活動に共感が生まれ今後の展開への期待が寄せられている。継続的に活動を進めていくための体制を準備中。